

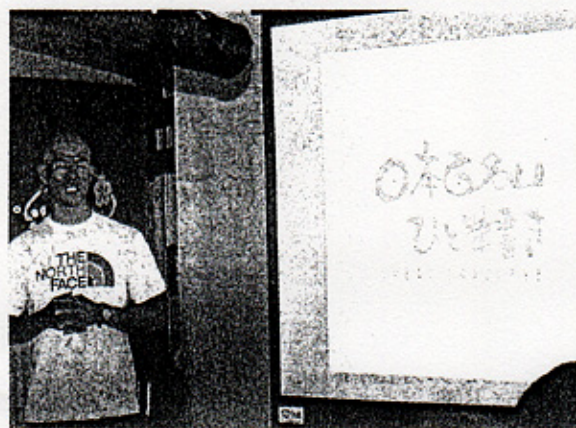
## 日本百名山人力旅―田中陽希さん

# 山登りと人間の素晴らしさを語る

「日本百名山ひと筆書き」で有名なプロアドベンチャーリーダー田中陽希さん(31)のトークショーが27日、豊川市東上町の峠の茶店「紋屋(もんや)」であった。日頃から山登りやハイキングを趣味とする約50人の人たちが参加し、共に自然の素晴らしさと山登りの楽しさを交流した。

国土の約7割を山岳地帯が占める日本。山の数は一万を超え、ともいわれるなかで、深田久弥氏が日本各地の山を美

際に登頂し、山の品格や歴史、個性から選んだ「日本百名山」。



日本百名山ひと筆書きでの体験を語る田中陽希さん(豊川の「紋屋」で)

まで一本の線でつなぎあわせ、海はシーカヤック、陸は徒歩だけで移動するとい

う壮大な冒険に挑んだのが田中さんだ。昨年10月26日午前7時20分、100座目の利尻山に登頂した。2014年4月1日からスタートした、人力のみで日本百名山をひと筆書きでつなぐ「日本百名山ひと筆書き」プロジェクトは2008日と11時間で人力走破した。総距離は7800キロに及んだ。

トークショーでは、この間の様々な人々との出会いやエピソード、そして過酷な自然との闘い、何よりも自身の不安と葛藤、そして感動をスライドを映しながら話した。

屋久島から大隅海峡へ渡る時、中間地点の人口60人ほどの竹島での村人との交流、九重山に登った時に食べた「そば饅頭」の店主の口笛で飛んでくるウグイスとのふれあい、午前3時から蓼科山に登り、山頂で待っていてくれた「山歩きの会」の皆さんとの出会い。

日ほどはテントで泊まり、山頂には祠(ほころ)があるので、いつも「ありがとうございました」との感謝の気持ちで手を合わせるという。四季の変化を体いっばいに感じながら、歩いていくからこそ感じる自然の素晴らしさが伝わってきたという。

田中さんの百名山走破はNHKのBSプレミアム「グレートトラバース」で放映されてきたのでNHKの企画だったように思われがちだが、そうではなく田中さんからNHKに申し出て撮影班はあくまで黒子に徹し、同行した。ただこのプロジェクトを成功させるという共通の志だけは共有した。

100座目の利尻山を登り終えて、一つの旅が終わった田中さん。宿へ戻るとき、7カ月ぶりに車に乗った。動いた瞬間、「ああ、動いたよかった」と思わず言葉がこぼれたという。

田中さんの旅は続く。来月から北海道宗谷岬を出発して、日本二百名山の新たな100座を登りながら鹿児島県の佐多岬を目指す人力旅が始まる。

(伊藤秀昭)